



自ら動き、感じ、楽しむ
～笑顔あふれる幼稚園～

NO. 5 令和元年9月26日発行
山口大学教育学部附属幼稚園
URL: <http://www.ymg-kg@yamaguchi-u.ac.jp>

世界にはばたけ フレッシュなピクニック

いよいよ9月28日に本園の運動会が開催されます。今年は、東京オリンピック・パラリンピックと共に盛り上げ楽しもうという思いを込めて『世界にはばたけ フレッシュなピクニック』をテーマにしました。子どもたちは日ごろから、ダンスを踊ったり跳び箱をしたりすることを楽しみ、もっとやってみたい！と運動会への気持ちが高まっています。運動会の競技は、普段楽しんでいる遊びの中から、子どもたちが楽しんでできることを選んで考えています。本番を迎える前に、これまでの子どもたちの生活をご紹介します。



初めての運動会！なんだか楽しそう！（花組）

長い夏休みを終えた花組さんたちが、どんな表情で登園してくるか心待ちにしていました。久々の幼稚園に少し不安そうな表情の子どもたちもいましたが、「ただいまー！」と言わんばかりに、元気いっぱい幼稚園に登園してくる子どもたちもたくさんいました。花組の子どもたちにとって附属幼稚園が“自分の幼稚園”になっているのだなと嬉しく思いました。

久しぶりに会った子どもたちは、なんだか心も体も一回り大きくなったように感じました。幼稚園の生活に慣れたり、しっかりと自分のしたい遊びを楽しんだり、少しずつ友達に気持ちが向いたり…そんな日々の積み重ねがあったからこそ、2学期にググンと大きくなるのだらうなと思います。2学期に入ってからの子どもたちは、友達とのやり取りも増え、いろいろなアイデアを出しながら遊びを楽しむ姿がたくさん見られるようになりました。



「アイスクリーム屋さんしてみたい！」というNちゃんの言葉から始まったお店屋さん、私も！僕も！と気付けば、いろいろな子どもたちが集まってアイスづくりをする姿が！…「プリンセスも遊びに来てくれるよう

に、ぬり絵を貼っておいたよ。」と自分だけでなく、友達のことにも気持ちが向くようになっていました。また、「明日もしようね。」「今日もやってみたい！」と今日の遊びが明日へ…と遊びたい気持ちが続いていくようになりました。友達と一緒に過ごすことが楽しくなり、自分の思いをしっかりとって遊び込む姿に、成長を感じ、とても嬉しく感じています。

そして、花組にとっては初めての運動会。「運動会って何？」とポカンとした表情の子どももいましたが、星組さんにダンスを教してもらったり、風組さんが運動場でかけっこをする姿を見せてもらったりして、「なんだか楽しそう！」とどの子どもたちも感じているようです。初めて小学校の運動場に行った次の日に「明日は運動会だね。」とすっかり運動会気分のAくん。おうちの人に縫ってもらった赤いリストバンドを見て、「これいつ着けるの!？」と早く着たくてワクワクしているSちゃん。「ダンスの時に頭につけるお面をつくるよ。」と呼びかけて作り始めたお面づくりでは、「ここにもっとハートをつけるんだ!」「キラキラいっぱいつけたよ。」と思いいいに飾りつけをし、できあがったお面を着けて鏡で確認する姿もありました。お面を着けた子どもたちは早速踊りたくなり、運動会で踊る「パプリカ」や「小さな世界」を何度も踊って楽しんでいました。それぞれに運動会への期待が高まっているようです。友達と一緒に過ごすことが楽しくなってきた時期だからこそ、みんなで踊ることも楽しくなり、みんなでかけっこすることも楽しくなっているのだと思います。

運動会当日は、いつもと違いたくさんのおうちの人から見られる環境になるため、子どもたちにとってはドキドキな一日だと思います。楽しみたい気持ちがありつつも、不安になったり、おうちの人と一緒によくなったりすることもあるかもしれません。花組の子どもたちにとっては、あの大きな運動場に立つことだけでもとっても立派なことです。運動会を迎えるまでに楽しみな気持ちをもってきたことには変わりありませんので、子



どもたち一人一人の頑張りをしっかりと受け止めていただければと思います。運動会当日は、親子で一緒にたくさん楽しんでいってください！
(高橋)

ドキドキワクワクな運動会♪（風組）

新しく2名の仲間が加わって2学期が始まった日、子どもたちは「おはようございます！」と元気に挨拶をし、「何して遊ぼうかな♪」とワクワクした表情で登園してきた姿が印象的でした。保護者の方からも、「幼稚園が楽しみだったみたいで、いつ行くの?と聞かれてたんですよ。」というお話をよく耳にしました。楽しみに待っていてもらえるぐらい、1学期が子どもたちにとっては充実したものだったのかなと、こちらはほっとしたと同時に、それ以上に保護者の皆様が充実した楽しい夏休みを子どもたちと一緒に過ごして下さったおかげだと感じました。



初日は始業式で、びっくりするぐらいお兄さんお姉さんのような表情で園長先生の話聞いた後、草取りをし、夏休みのことをクラスで聞いておしめいただいたので、子どもたちにとっては物足りなかったようです。「もう帰るん?遊んでない…」としょんぼりした表情でした。しかし、次の日からは、虫捕りをしたり、おままごとをしたり、ブロックや恐竜で遊んだり、フウセンカズラやアサガオの種を集めたり…1学期の遊びも楽しみつつ、自分達の好きなことを見つけて、存分に楽しむ姿が見られました。中には遊び始めるまでにとまどっている子どもたちの姿も見られましたが、「夏休みは、プールに行ったんよ。」とか、「あのね、くつを新しく買ってもらったんよ。」など、保育者と一通りおしゃべりを楽しんだ後は、ほっと安心した表情で遊び始めていました。

そして、2学期の行事といえば、「運動会」。小学校の広いグラウンドで行なうことを楽しみにできるように、まずは端から端まで走ってみたり、鬼ごっこを試してみたりしました。花組さんにも走るところを見てもらい、気分はもう「明日、運動会」。そして、星組さんにはダンスを教えてもらい、気分は



もう「明日、運動会」。中には、「Aちゃん踊らんよ。」と宣言する子どももいました。理由を聞くと、「周りにたくさん人がいて恥ずかしいから。」とはっきり教えてくれました。こちらは、「踊ってほしいなあ・・・」と思いがちですが、「周りにたくさん人がいて恥ずかしい」という自分の気持ちがわかるこの姿は、心も体も大きくなっている証だなとしみじみ感じます。この頃の子どもたちは、自分たちがしていることを少し客観的に見ることができ、「ちょっと恥ずかしいな。」「みんなの前でしたくないな。」と思える、すてきな時期です。この時期を乗り越えると、「見て！こんなこともできるよ！」と自信をもって取り組む姿に変わってくるから、不思議ですよ。

運動会までの間、一緒にダンスに必要なお面をつくったり、小学校に行ってみんなで走ってみたり、ステージで踊ってみたりして、遊びの中で楽しんだことが、運動会につながっていくようにと願い、取り組んできました。当日子どもたちのかわいらしい姿をしっかりとご覧ください。（厚東）



“友達と一緒にやってみよう” がいっ~ぱい☆（星組）

夏休み明けに、久しぶりに友達に会えたことが嬉しくて誘い合って遊んだり、夏休み中の出来事を友達や先生に喜んで話したりなど始業式から楽しそうな姿が見られました。また、夏休み中に以前より泳げるようになったことを得意げに話す星組さんの姿もあり、心も体も大きくなったなと頼もしく感じました。

2学期から友達と誘い合って遊戯室にある跳び箱や鉄棒などに挑戦することが多くなり、“できるようになりたい”という気持ちから、自分なりに頑張ろうとする姿が見られるようになりました。何度も何度も挑戦するうちに、自分なりにコツをつかんで「おへそを

見てくるんってまわったらいいよ。」と友達に鉄棒のやり方を教えたり、友達の挑戦する姿を「怖くないよ。僕も昨日でできたけど何回もやったらできたよ。」と応援したりするようにもなりました。

また、それぞれが取り組んでいく



中で、できるようになったことが増えると、「先生、みんなの前で紹介したい。」という声がたくさん出てきました。クラスで紹介し合うこともあれば、学年で集まってみんなの前で披露していくこともありました。友達同士でできるようになったことを喜び、認め合っていくことで、お互いに自信をもつことができ、仲間関係を深めていく機会にもなっていました。

また、運動会の全園児ダンスの『小さな世界』『パプリカ』では、星組さんが中心にダンスを考えました。『小さな世界』は、花組さんも風組さんも星組さんも、みんなが一緒に同じ振り付けで踊れるように友達同士で振りのアイディアを出しながら作りあげていきました。「こんなのはどう?」「いいね、いいね。」「このダンスは花組さんはむずかしくて踊られないんじゃない?」「じゃあ簡単にしたらいいかも。こんなのはどう?」など、花組さんでも踊ることができるよう、曲のイメージに合わせて体を動かしながら友達と一緒に踊りを考えている星組さん。友達と一緒にやってみる中でも、花組さんなどの小さいお友達のことを考えながら思いを出し合っているという事に感心しました。

もう一つのダンス『パプリカ』では、風組のときから踊っている子どもたちもいるので、表現方法を工夫する姿が見られました。サビの『♪パプリカ はながさいたら~』のときの振り付けのところで、Kちゃんが友達に「“パプリカ”のときは目をぎゅってつぶって、“カ”のときに目をぱって開くんよ。」と教えていました。子どもたちにとって日頃の遊びの中でも歌ったり踊ったりしている大好きな曲だからこそ、振りの表現方法まで話し合いながらダンスを楽しめたのではないかと嬉しく思いました。当日は緊張で顔がこわばるかもしれませんが、ぜひサビの子どもたちの表情にも注目してみてください☆

子どもたちは友達と一緒に挑戦したり、楽しんだりしながら運動会に向けて気持ちを高めています。運動会本番では、緊張や不安から今までできていたことができないこともあるかもしれませんが、これまでに友達と一緒に挑戦し、頑張ってきた姿や思いを大切にしたいですね。

星組は、幼稚園最後の運動会です！子どもたちが最後まで頑張り、笑顔で楽しむ姿に大きな拍手とたくさん声援を送り、温かく見守っていただければと思います。



(福田)

みんなが大好きなパプリカの歌詞です。
ぜひ、ご家庭でお子さんと一緒に歌ってみてください。

♪パプリカ♪ 歌:Foorin 作詞・作曲:米津玄師

まがりくねり はしゃいだみち あおばのもりで かけまわる
あそびまわり ひざしのまち だれかがよんでいる
なつがくる かげがたつ あなたにあいたい
みつけたのは いちばんまし あしたもはれるかな

※パプリカ はながさいたら はれたそらに たねをまこう
はれるや ゆめをえがいたなら
こころあそばせあなたにとどけ

あめにくゆり つきはかげり こかげでないたのはだれ
ひとりひとり なくさめるように だれかがよんでいる
よろこびをかそえたら あなたでいっぱい
かえりみちをてらしたのは おもいでのかげぼうし

※
あいにくよ なみきをぬけて うたをうたって
てにはいっぱいの はなをかかえて ラルラリラ

パプリカ はながさいたら はれたそらに たねをまこう
はれるや ゆめをえがいたなら こころあそばせあなたにとどけ
かかとはずませこのゆびとまれ
(あしたにたねをまこう!!)

それぞれの学年で子どもたちが運動会への気持ちを高め、楽しく迎えられるように過ごしてきました。当日は、子どもたちが真剣な表情で走ったり、頑張っている友達を応援したり、友達や保護者の皆様と一緒に取り組むことを喜んだりする姿が見られると思います。そんな一生懸命な子どもたちの姿にあたたかいご声援をいただければ幸いです。

(編集担当:福田)

